

# 電源別発電構成と経済評価<sup>1</sup>:

## 2023年におけるシナリオ別シミュレーション

齋藤 経史<sup>2</sup> 大橋 弘<sup>3</sup>

### 概要

本稿では、エリア間を連系線で繋ぐ電力系統モデルを用いて、いくつかのシナリオのもとで全国大のメリットオーダーを達成したときの最適な電源別発電構成をシミュレーションし、その経済評価を行うことを目的にする。電力需要の見通し、再生可能エネルギーの導入状況、原子力の稼働状況という3つのパラメータにおいて作られたシナリオのもとで、二酸化炭素排出量や発電に関する費用をシナリオ別に試算する。さらに軽負荷期における再生可能エネルギーの影響を評価するために、特定の供給エリアに注目した考察も行う。

<sup>1</sup> 本研究は、科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 CREST「分散協調型エネルギー管理システム構築のための理論及び基盤技術の創出と融合展開」での研究成果を踏まえたものである。

<sup>2</sup> 東京大学大学院経済学研究科 特任研究員 [ksaito@e.u-tokyo.ac.jp](mailto:ksaito@e.u-tokyo.ac.jp)

<sup>3</sup> 東京大学大学院経済学研究科 教授 [ohashi@e.u-tokyo.ac.jp](mailto:ohashi@e.u-tokyo.ac.jp)